



TITLE:

ジャウィ講習を始める前に(解説)

AUTHOR(S):

CITATION:

ジャウィ講習を始める前に(解説). CIAS discussion paper No.27 : ジャウィを学ぶ--ジャウィ文献購読テキスト 2012年度版 2012, 27: 10-14

ISSUE DATE:

2012-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228543>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

ジャウイ講習を始める前に(解説)

問 1

【問題】

次の(1)～(4)について、カンマで区切られている文字を組み合わせてマレー語の単語を1つ作ってください。また、もしその単語が派生語である場合は、辞書の見出し語がどう派生したかがわかるように分けて書いてください。

- ・挙げられている文字はすべて1回ずつ使うこととします。
- ・文字の順番は入れ替えてかまいません。
- ・文字と文字の間がカンマで区切られていない場合は合わせて1つの文字として扱います。

(例) a, e, i, c, n, r, t, t → 解答【 tercinta (ter+cinta) 】

(1) a, e, u, b, r, s, t

(2) a, a, i, d, j, ny

(3) a, a, a, i, d, k, m, n, n

【解説】

これは、マレー語の単語を構成する音節の作り方と、接頭語・接尾語についての理解を問う問題です。マレー語の単語はいくつかの音節から組み立てられています。それぞれの音節は、母音を核として、その前後に子音が来ることで構成されます。子音を C、母音を V で表すと、音節のパターンは V、CV、VC、CVC の4通りしかありません。

例題に挙げられている文字の候補(a, e, i, c, n, r, t, t)を見ると、母音はa、e、iの3つなので、この単語は3音節ということになります。子音は5つあるので、CV-CVC-CVC や CVC-CV-CVC などのように3つの音節を組み合わせてCを5つ使うということです。

ただし、文字を1つ1つ組み合わせて調べていくと膨大な時間がかかります。そこで、接頭語・接尾語を取り除いてみます。例題の子音(c, n, r, t, t)から考えられる接頭語・接尾語に ter-があります。(母音にもeがあるので ter-を作ることができます。)文字候補からt、e、rの3つを除くとa、i、c、n、tが残ります。

子音が3つあり、音節は2つなので、考えられる組み合わせは CV-CVC、VC-CVC、CVC-CV の3通りです。(形の上では CVC-VC も考えられますが、これは CV-CVC と同じです。)これに子音を3種類、母音を2種類当てはめると、組み合わせは36通り

になりますが、その中でマレー語の単語として意味をなすものに *cinta* があり、答えとして *tercinta* (*ter-cinta*) を得ます。

問い(1)～(3)は、このように適切な接頭語・接尾語を抜いて考えることができれば解きやすくなります。(1)は *ber-*、(2)は *-nya*、(3)は *di-*と *-kan* の接頭語・接尾語が含まれています。

問 2

【問題】

次のマレー語の文の[A]～[C]のうち 1 つを選んで日本語に訳してください。美文にする必要はありません。訳語は文脈にあったものを選んでください。また、なるべくもとの文の構造がわかるように訳してください。(英単語は斜字体にしています。)

[A] Malam semalam, bapak saudara Mahesh sepatutnya kahwin. *So*, keluarga mereka ada buat *cerebration*, tapi jiran mereka pura ada kematian. *So*, mereka buat baca doa. Satu keluarga *happy*, satu keluarga sedih, timbullah pergaduhan. Dalam pergaduhan itu, bapak saudara Mahesh itu dibunuh.

[B] Pada masa sekarang bahasa Melayu ada mempunyai dua jenis gambar bagi merupakan tulisannya, iaitu satu Arab, biasa disebut Jawi dan satu Rumi. Kedua-dua jenis huruf ini terpakai bersama-sama pada anak-anak sekolah Melayu di negeri ini, kadang-kadang Jawi dan kadang-kadang Rumi. Isinya atau bahasanya sama juga.

[B] Golongan guru-guru sekolah Melayu
yang rajin membaca,
yang sedar dirinya terhadap kanak-kanak
yang diajarnya sekarang
akan jadi pemuda esok hari, pemuda harapan bangsa,
bukan guru-guru menunggu gaji
dari sebulan ke sebulan.

【解説】

[A]の文は、映画『タレントタイム』（ヤスミン・アフマド監督）でタン先生とアヌアル

先生がメルーを車で迎えたとき、送迎役のマヘシュが来なかった理由を説明している場面のタン先生の台詞です。文の構造としては特に難しいところはないと思います。この文は比較的マレー語が多くなっていますが、マレーシア人の会話では、このようにいろいろな言葉の単語を混ぜて文にすることがよくあります。『タレントタイム』をはじめとするヤスミン監督の映画には、多民族社会マレーシアで民族や宗教の違いを超えて互いに心を通わせようとするティーンエイジの少年少女が登場して、マレー語、英語、中国語などのさまざまな言葉で想いを伝えようとします。

[B]の文は、「マレー語文法の父」と称されるザアバ (Za'ba) が 1940 年に書いたマレー語教本 (Pelita Bahasa Melayu) に出てくるローマ字とジャウイの説明です。文の構造としては特に難しいところはないと思います。この文章が書かれた 1940 年には、学校でローマ字とジャウイがどちらも使われていたことがわかります。

[C]の文は、1940 年代から 60 年代にかけてマレーシアのイスラム教と教育や政治の発展に尽くしたブルハヌッディン・アルヘルミ (Burhanuddin al-Helmi) が 1946 年に書いた『我らの闘争』(Perjuangan Kita) から引用したものです。文の仕組みはやや込み入っています。

Golongan guru-guru sekolah Melayu の後に「yang…」が 3 つ続っていますが、はじめの 2 つの

(1) yang rajin membaca

(2) yang sedar dirinya terhadap kanak-kanak

が golongan guru-guru sekolah Melayu を説明しているのに対して、3 つめの

(3) yang diajarnya sekarang

はその前の kanak-kanak を説明しています。また、

akan jadi pemuda esok hari, pemuda harapan bangsa

の部分は kanak-kanak に続いています。そして、その後の「bukan guru-guru」以降は最初の行につながっています。

問 3

【問題】

ある言語は、在地の文字とラテン文字（ローマ字）という 2 つの異なる文字体系を使っています。以下の語は、その言語で書かれたものです。それぞれの語には対応するラテン文字表記が付されています。

| | |
|-----------|----------------------|
| h h s | - <i>senam</i> |
| h 4 o | - <i>epok</i> |
| h s y | - <i>ménang</i> |
| h 4 s h 4 | - <i>tanah-merah</i> |
| h s h 4 o | - <i>méntigi</i> |
| h h s o | - <i>senamahi</i> |
| h | - <i>la</i> |
| h 4 o | - <i>puak</i> |
| h y o | - <i>sangka</i> |

(1) 以下の3つは、それぞれ日本語の何という単語を示しているでしょうか。

h y h 4 o , h h o h y , 4 h o 4

(2) a、e、i、o、uの表記法に関する規則をまとめなさい。

(3) 次の語を上の在地文字を用いて書きなさい。

- pisang (バナナ)
- ais krim (アイスクリーム)

【解説】

これは、2007年2月にオランダのライデン大学で行われた言語学オリンピックで出題された問題を一部改変したものです。(このもととなる問題が出題された言語学オリンピックについては、菊沢律子「言語学オリンピック in ライデンーオランダより」(『民博通信』第119号、29-32頁)を参照してください。)

在地文字とローマ字の対照表を見ながら、在地文字ではそれぞれの単語が文字をいくつ使っているかを見ていくと、在地文字では基本的に子音だけ表記していること(ただし単独の母音は1つの文字が与えられていること)がわかります。(音節ごとではなく子音ごとです。たとえばCVCVCの単語の場合、音節ごとならCV-CVCの2つの文字で表記されることになりますが、例題では3つの文字で表記されています。したがって、

CV-CV-C のように子音ごとに表記されていることがわかります。)

さらに母音をどう表記するかを見ていくと、e または i なら文字の上に○印を、o または u ならば文字の下に v 印をつけ、a または e なら文字に記号を付けないことがわかります。また、後ろに母音を伴わない子音だけの場合には、文字の下に点を打っていることがわかります。(この部分が (2) の答えになります。)

これがわかれば、あとは文字を組み合わせれば答えが得られます。注意すべき点は、f と p のように在地文字では 1 つの文字で表記されるものがあることです。

＊

この問いで使われている在地文字の体系は、実はジャウィによく似ています。ジャウィはアラビア文字を使っているので、アラビア語の知識があれば、ジャウィの法則がわからなくてもジャウィで何と書かれているのか勘で当てられることもあります。そこで、アラビア文字を使わずにジャウィの法則に従って単語を作り、それを読めるかを問うことで、法則を法則として理解しているかを問うているのがこの問いです。

アラビア文字で書かれたジャウィなら何となく読めるけれどもこの問題はさっぱりわからなかったという人は、ジャウィがジャウィとして読めているわけではないのかもしれない。ジャウィをジャウィとして読めるようになるため、初級編をおさらいすることをお勧めします。